

避難場所の整備(和歌山県日高川町)

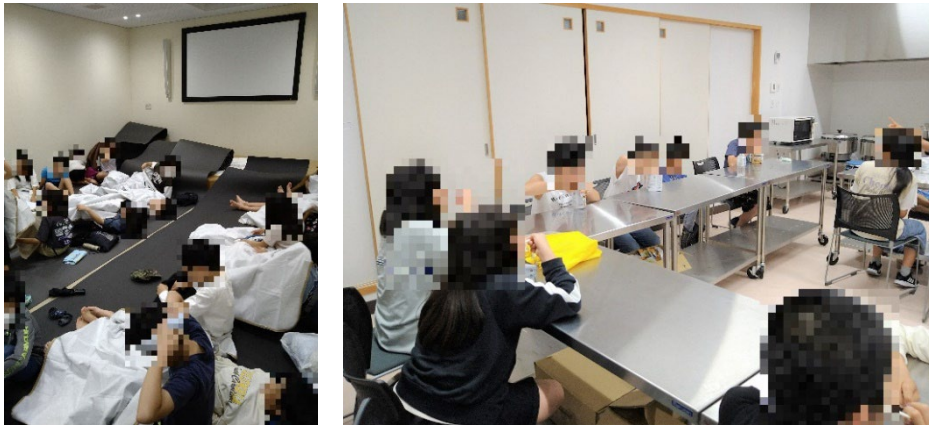
効果概要: 南海トラフ地震の津波浸水が想定されている日高川町において、都市防災総合推進事業を活用し、液状化の恐れがない高台に避難施設を整備した。当該施設は、救援物資の集積・搬送拠点機能、平時の防災学習機能を兼ね備えており、指定緊急避難場所に指定されている。令和5年6月の大雨では、一時避難場所として、和歌山県内に修学旅行に来ていた京都市立花園小学校の児童をはじめ、62名が避難した。

府省庁名: 国土交通省

- 実施主体: 和歌山県日高川町
- 施設名 : 日高川町防災センター
- 対策の概要及び事業費:

主な対策内容	事業費	対策期間
避難場所「日高川町防災センター」の整備 ・ BF: 備蓄倉庫、機械室 ・ 1F: 避難フロア (500人避難可能) (平常時: 防災学習シアター、防災展示スペース等) ・ 屋外施設: 駐車場、マンホールトイレ 等	約7.7億円	H27~H30

避難時の様子



(出典: 京都市立花園小学校より提供)

京都市立花園小学校の先生からのコメント
 「阪和道と一般道が通行止めになり、立ち往生していたところ、近くの防災センターに避難しました。おかげさまで子どもたちは一晩安全に過ごし、元気に帰校できました。」



施設全景



備蓄倉庫



防災学習シアター